

環境だより



環境課 ☎66・1121

ごみを減らすための3つのRから始まるキーワードを知っていますか？

REDUCE

(リデュース・減らす)

REUSE

(リユース・再使用)

RECYCLE

(リサイクル・再生利用)

この3Rを実行することで、ごみ問題解決・循環型社会へのトビラが開かれます。

まずはごみを減らそう！

ごみを減らす一番簡単な方法は、ごみを出さないこと。ごみが出たら処理するのではなく、ごみとして出るものを抑えるという考え方が最も基

3つのRでごみを減らそう

本であり、このささやかな実践の積み重ねが大切です。
物は大切に繰り返し使おう！

自分ではもういらなくなっている人がいることもありま
す。リユースは、一番コストのかからないリサイクルといえ
ます。市では、家庭でいらな
くなった物や欲しい物の情報
交換の橋渡しをしています。

環境課や市民センターにある
不用品交換情報登録カードに
必要事項を記入し、環境課に
提出(Eメールでも可)してい
ただくとリサイクル情報誌や
ホームページに掲載するなど、
不用品交換の紹介をします。
大いに活用してください。

最後の手段はリサイクル！

リサイクルをすれば、それ
だけごみの発生量も減り、ご
み処理施設から排出される二
酸化炭素や各種汚染物質の量
が少なくなり、二酸化炭
素の減少で地球温暖化防止に
つながるだけでなく、確保す
るのが困難な埋め立て地の寿
命も長くなります。資源回収
にご協力をお願いします。

消防最前線

Journal
of
Fire
Department
119

URL <http://www.city.gamagori.aichi.jp/syoubou/index.html>

消防士の現場活動には欠か
せない装備の一つ「とび口」。
長さ約2mの棒の先端に小さ
なものが付いている
ものです。実物を見ると、最
新鋭の消防設備に比べ、とて
もレトロな感じを受けること
でしょう。しかし、とび口は、
江戸時代の町火消しの時から
現代まで、ずっと受け継がれ
ている大切なものなのです。
昔の消火方法といえば、と
にかく火が広がらないよう
に、周りの家を取り壊すのが
主流でした。簡単な手押しポ
ンプもありましたが、今ほど
能力もなく、水も十分に確保
できなかったようです。そこ
で、火消したちは、とび口や

とび口

大のこぎりなどの道具を使
い、家を壊していったのです。
やがて時代が進み、水利や高
性能のポンプが整備されるに
したがって、注水による消火
活動が主流になりました。

しかし、とび口は、現在で
も役割を変えて活躍してい
ます。まず、消防士が屋内に
進入する前、頭上にある瓦な
どの落下物を取り除くために
使われます。また、進入口を
開くためや屋内に充滿した煙
を抜くためにガラスを割った
り、トタン板をはがしたりと
危険な作業に欠かせません。
さらに、高い所から下の物を
引き上げたり、灰の中で物を
探す棒になったりと役割は千
変万化します。

こうして、とび口は役割を
変えても、その形を変えら
れなく現代に伝えられていま
す。江戸時代から受け継がれ
ている火消し魂とともに。

